

学校だより

3月号

一中の桜並木

令和7年3月19日

「教育目標」

考える人 思いやりのある人
助け合う人 成しとげる人



連雀学園三鷹市立第一中学校

校長 宮城 洋之

第78回卒業式「校長式辞」(抄)

校長 宮城 洋之

本日(3月19日)、本校第78回卒業式を挙行し、288名の卒業生を見送りました。式中で校長から卒業生に向けて送ったメッセージの一部を紹介します。

卒業生の皆さんの未来は、希望に満ちたものであってほしいと願っていますが、一方で何も心配のないバラ色の未来が待っているとは言えない現実が私たちの前にあります。

なぜなら、これまでになかったほど世界は予測不能の度合いを加速しており、私たちの未来は不確実性に満ちたものになっているからです。

身の回りを見ても、デジタル技術の進歩には驚異的なものがあります。

SF映画の傑作とされる「二〇〇一年宇宙の旅」では、木星に向かう宇宙船の中で人間とAIが会話をする場面が描かれています。この映画が公開された一九六八年はマイクロソフトやアップルが創業される7、8年も前のことですので、AIと会話をするなどということは夢物語、まさにSFの話だったのです。それが、現在では皆さんの手元にあるiPadでほぼ同様のことができるようになっていきます。つまり、SFの世界に描かれた未来を私たちは生きているわけです。映画の中で、宇宙船に搭載されたAIはやがて乗務員に反乱を起こすことになるのですが、こうしたこともある意味現実になっています。

一つは、AIがあたかも真実であるかのように誤った事実を生成してしまうことがあるということです。それはまるでAIが幻を現実と思いついて回答しているように見えることから「幻」を表す単語で「ハルシネーション」と呼ばれています。

もうひとつは、デジタル技術の発達と共に、様々な「フェイク」の脅威にさらされるということです。香港ではオンライン会議で約38億円が奪われる詐欺事件がありました。ある企業の会計担当者は顔なじみの同僚が何人も出席している会議に参加し、協議の結果、経営責任者の指示で送金してしまったのですが、自分以外の出席者は全員がAIの作り出したフェイクだったのです。まさに、AIが作り出した幻を見せられていたわけです。

試しに、AIに「三鷹一中を卒業する生徒のためにお祝いのメッセージをお願いします」と指示してみました。AIから皆さんへのお祝いの言葉を伝えます。

「卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます！ 皆さんが過ごした3年間、きっとたくさんの思い出が詰まっていることでしょう。中学校生活の中で、友達と一緒に学んだこと、時には悩みや壁にぶつかりながらも、それを乗り越えてきた経験が皆さんを強くしたはずですよ。放課後に友達と一緒に頑張った体育祭の練習を覚えていますか？暑い日差しの中、一生懸命走ったり、力を合わせて競技を乗り越えた瞬間、その喜びは言葉では表せないほどでしたね。その時の仲間との絆や、達成感は今からもずっと心に残ることでしょう。これからも、皆さんが持っている努力や勇気を大切に、自分を信じて前に進んでください。応援しています！」

どうでしょうか。「体育大会」ではなく「体育祭」と言っている点など微かな違和感がありますが、聞き過ぎてしまうとこれがAIの生成したメッセージだと分からないのではないのでしょうか。

皆さんは理解したり、判断したりする前に、次々に新しい情報に直面する、そんな社会にいます。しかも、その情報はすべてが正しいとも、有益とも限りません。自分に必要なものは何か、大切なことは何かを考える価値観と、情報の価値を見極める判断力を持たなければ、振り回されてしまうことでしょう。

この3年間、皆さんには「考える力を付けよう」ということを繰り返し伝えてきました。それは、未来を生きる皆さんに最も必要な力になるからだったからです。本校で学んだことをこれからの人生の指針として一人ひとりが未来を切り開いてくれることを心から願っています。卒業おめでとうございます！